

おとずれ山の会 だより

第17号

森づくりを楽しみながら、自然との共生を考える

R2年度活動

本格始動へ 6月26日

天羽田竹林からスタート

スタートといっても、「コロナウィルス」はまだ収まりきっておらず、林野庁等からの通達を十分に踏まえ、感染予防対策をしっかりとることが前提です。



すでに5、6月の自主活動では、林野庁交付金事業の事前作業としてコロナ対策はじめ安全確認会(刈り払い機の構造とメンテナンス)を行いました。さらに、台風被害状況や希少植物の状況の調査、モニタリング調査区域の設定等を行ってきたところ。



サマータイムの実施

また、暑さ対策として、夏季の間は作業開始を少し早めて8時30分開始(7月~9月)とすることとなりました。(写真④=竹林の倒木等の除去、⑤=竹林の刈払い、⑥=刈払い機の構造とメンテナンス、⑦=おとずれの森での事前作業で集合、⑧=刈払い刃の研磨)



おとずれ山の会の活動も収録されています

いちはらアートミックス2020参加作品に



おとずれの森に何度か取材に来られたアーティストの深澤さんから、市原アートミックス2020参加作品の映像がまとまったということで、その限定版がメールで送られてきました。

延暦寺の覚雲僧上が夢の中で音信山を訪ね、光明寺の復興を願うという筋立てで、山口の木造地蔵を軸に周辺地域の状況や関係者への取材によって構成されています。おとずれの森の活動の場面もあって、アートミックス会場での展示が楽しみです。(写真は、作品の中の一場面)

～編集後記～

◆コロナ感染の不安そして新たな生活習慣の構築・順応一落ち着いたない日々で疲れ気味となるなか、里山での“息抜き”が大きな救いになっています。◆野外なら安全というわけではないですが、少なくとも“三密”の恐れはなく、気持ちも癒されるように思われます。◆自然からの贈りもの「里山」を大切に上手に活用したいものです。(編集局)

編集・発行:おとずれ山の会 代表:高橋順子

連絡先:高橋和靖(事務局 携帯 090-4735-6504)

〒299-0257千葉県袖ヶ浦市神納2-23-22

Email:kjtaka@kba.biglobe.ne.jp

Blog:「おとずれ山の会」で検索し「ブログ」をクリックして下さい